

様式第2号 (第3条関係)

行政視察等報告書

令和7年10月30日

米子市議会議長様

(会派の場合)

会派名

代表者氏名

(印)

提出者氏名

(印)

(議員の場合)

議員名 森田悟史



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	森田悟史
期日	令和7年10月22日から 令和7年10月23日まで
〔視察等年月日・場所・内容〕 (1) 年月日 令和7年10月22日(水)～令和7年10月23日(木) (2) 視察場所 ・北海道札幌市 ・北海道北広島市 (3) 視察内容 【1日目：北海道札幌市】 研修①：札幌ドーム～新たなる挑戦 研修②：(株)セコマ～地方創生への取組 【2日目：北海道北広島市】 研修③：実践力を身に着ける～議員力向上ワークショップ 研修④：スポーツを活かしたまちづくり～北広島市の挑戦 研修⑤：エスコンフィールド現地視察	

〔視察等の目的〕

札幌ドームとエスコンフィールドという対照的な大規模集客施設の運営実態と、それが地域経済やまちづくりに与える影響を比較・調査する。株式会社セコマの事例から、人口減少・高齢化社会における持続可能な地域密着型ビジネスモデル（特に小売・物流）と、行政との連携による地域課題解決の手法を学ぶ。ネット選挙の最新動向と情報発信手法を把握し、今後の市政情報発信の強化に役立てる。これらの先進事例から得られた知見を、米子市の公共施設運営、地域経済振興、官民連携によるまちづくり、広報戦略等の事務事業の参考とする。

〔視察等要旨〕

・札幌ドーム

日本ハムファイターズ移転による赤字計上から再起を図る札幌ドームは、「Dresms Move Again（再び夢が動き出す）」をスローガンに、2025年度の営業利益黒字化を目指す運営戦略を学んだ。平日の稼働率向上が課題とされる中、上限約20億とされる貸館事業への依存から脱却するため、飲食事業、ドローン学校などの教育事業、旅行事業、スノーパーク事業など、新たな事業の柱を構築中である。その理念は「建物をどう使うか」ではなく「社会の課題を解決する」ことが重要であると、展望台ナイトヨガやキッチンバスによる社員食堂提供など、既存施設の見方を変えて新たな価値を創出する姿勢が印象的であった。また、単純な黒字額よりも「札幌市への経済波及効果」を最重要視し、広域的な視点で来訪者の滞在時間延長を図る方針であった。

・人口減少社会を支える地域密着型サプライチェーン

株式会社セコマは、製造・物流・小売を一体化した独自のサプライチェーンで、北海道のインフラとして機能する企業の経営戦略を実践している。人口減少を前提とし、自治体単位でなく「面」で取り組む「地方創生2.0」を掲げ、道内人口カバー率は99.8%に達する。特筆すべきは、人口900人（高齢化率4割）の紋別市上渚滑のような地域にも、行政と連携（店舗をバス待合所として市が賃借）して出店する地域密着の経営である。物流網を自前で持つため、小規模店舗でも維持が可能となっている。その独自の経営哲学は「店舗+物流+製造」のグループ全体で黒字であればよいというものであり、人口が減少する村でも売上を維持・向上させており、「人口=マーケットではない（関係人口の重要性）」を証明している。さらに、自家発電で稼働する物流センターの整備や防災協定により、災害時にも機能する強靱な物流網を構築している。

・官民連携によるFビレッジ構想

北広島市におけるFビレッジ構想は、行政と民間がスピード感の違いを乗り越え、民間の投資を最大限に引き出したまちづくりの事例である。行政の役割は「民間の投資を呼び込める土台」整備に徹することであり、具体的には、市街化調整区域の編入（人口フレーム方式によらない弾力的運用）やインフラ整備を実施している。スキームとしては、土地は市有だが施設（エスコン）は民設民営であり、市は土地貸付や固定資産税10年免除、道路維持費のネーミングライツ捻出などで財政負担を最小化している。これにより、民間によるホテル、商業施設、高収入層向け分譲マンション等の開発が誘発され、来場者も20~30代が増加、完全キャッシュレス化導入等で客単価は12球団トップクラスになるなど、高い開発効果を生み出している。根底には「ボールパークに依存するのではなく、ボールパークがある街としてどうしていくか」という市としての明確なビジョンがあった。

・実践力を身に着ける議員力向上ワークショップ

議員力向上ワークショップでは、情報取得のメディアシフト（テレビからネットへ）に伴う選挙戦略の変化を学んだ。ネット選挙は、単に目立つ（フェーズ1）から、共感や交流を重視する段階（フェーズ2）へ移行している。戦略としては、若い世代に強いX（旧Twitter）とYouTubeの切り抜き動画の相性が良く、また、ブログ記事な

どでコンテンツを蓄積し、Google等で「検索」されることが重要であるとのことであった。発信のバランスも重要であり、一方的な発信だけでなく「交流」を重視し、「人柄（6割）：共感（2割）：主義主張（2割）」のバランスが鍵になるとの知見を得た。

〔視察等（説明）要旨に対する考え方及び本市の事務事業に参考となる点〕

今回の視察で得られた各事例は、本市の事務事業を推進する上で多くの示唆に富むものであった。札幌ドームの「既存施設の見方を変えてお金を生み出す」という姿勢は、本市のコンベンションセンターや体育施設等の公共施設運営において、稼働率向上や新たな事業展開（例：施設命名権、飲食事業の強化）を検討する上で参考となる。また、施設の黒字化だけでなく、「社会課題の解決」や「地域経済への波及効果」を事業の軸に据える理念は、本市の施設運営や観光振興策定においても重要である。セコマの経営戦略は、人口減少・高齢化が進む本市において示唆に富むものであった。「胃袋でカウントする」といった市場分析や、行政と連携した小規模店舗の維持（上渚滑のバス待合所併設事例）は、本市の買い物弱者対策や地域公共交通の見直しを検討する上で、官民連携の好事例となる。加えて、災害時にも機能する強靱な物流網の構築は、本市の防災計画において、民間事業者（特に小売・物流）との連携を強化する上で参考となる。北広島市のエスコン民設民営モデルは、大規模開発における行政の「稼ぐ支援」のあり方を示している。行政が「民間の投資を呼び込める土台」整備（規制緩和やインフラ整備）に徹し、民間の自由度とスピードを活かす手法は、本市の企業誘致や今後の大型プロジェクト（アリーナ構想等）を推進する上で大いに参考となる。「アリーナがある街としてどうするか」という視点、つまり施設単体で考えるのではなく、周辺地域との連携や、市としての明確なビジョンを持つことが成功の鍵であることを再認識した。さらに、「できる人に合わせる（キャッシュレス化等）」という発想は、利用者の利便性を下げないという観点から、本市の行政サービスにおけるデジタル化（DX）推進の参考となる。ネット選挙の動向については、若年層への情報リーチにおいて、従来の広報誌やテレビ等に加え、SNS（特にXやYouTube）の戦略的活用が不可欠であることを示している。市政情報を「切り抜き動画」で分かりやすく発信するなど、媒体特性に合わせた工夫が参考となる。また、一方的な「発信」に留まらず、市民との「交流」の場を設けること、キーワードを意識した情報（ブログ等）を蓄積し「検索」に備えることは、本市の広報戦略全般に応用できる。

経 費	旅 費	81,385円
		合 計 81,385 円

(注) 氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

行政視察行程（森田議員：研修）

月 日	行 程	宿泊先等
10/22 (水)	8:50 10:10 11:00 12:35 12:50 13:37 米子空港 ===== 羽田空港 ===== 新千歳空港 ===== 札幌 ===== 北海道議会 ANA384 便 ANA61 便 JR 快速エアポート79号札幌行 出口南口（西コンコース）徒歩8分	(昼食) 新千歳空港付近 【ホテル】 ホテルマイステイズ 札幌駅北口 ☎011-729-4055
	研修会 午後2:45～ 【問合せ：全国研修会 北海道担当 恩村様】 ☎090-2817-6695 【場 所】北海道議会（札幌市中央区北2条西6丁目） 【研修1】14:45～ 「札幌ドーム～新たなる挑戦（仮）について」 【研修2】16:00～ 「(株)セコマ～地方創生への取組（仮）について」	
	北海道議会 ===== ホテル タクシー6分 (1.2km)	
10/23 (木)	8:48 9:04 ホテル ===== 札幌 ===== 北広島 ===== 北広島市役所 徒歩3分 JR 快速エアポート38号 徒歩10分(800m)	
	研修会 午前9:30～ 【問合せ：全国研修会 北海道担当 恩村様】 ☎090-2817-6695 【場 所】北広島市役所（北広島市中央4丁目2-1） 【研修3】「実践力を身に着ける～議員力向上ワークショップ」 【研修4】「スポーツを活かしたまちづくり～北広島市の挑戦（仮）について」 【研修5】「エスコンフィールド現地視察」	
	15:36 16:06 17:30 19:10 20:05 21:25 エスコンフィールド ===== 北広島 ===== 新千歳空港 ===== 羽田空港 ===== 米子空港 JR 快速エアポート126号 ANA74便 ANA389便	

旅費計算表

令和7年10月22日 ~ 令和7年10月23日

月 日	区間	鉄道路線名	区間キロ数	目的地までのキロ数	運賃	グリーン	急行料金		宿泊手当宿 泊 費		
							特別	新幹線	(朝食なし)	北海道	
10/22	米子空港 ~ 羽田空港	ANA	776.0		27,530				2,400円	18,000円	
(水)	羽田空港 ~ 新千歳空港	ANA	894.0		37,820				2,400	12,180	
	新千歳空港 ~ 札幌	JR	46.6								
10/23	札幌 ~ 北広島	JR	21.8		580						
(木)	(研修)										
	北広島 ~ 新千歳空港	JR	24.8								
	新千歳空港 ~ 羽田空港	ANA	894.0		往復						
	羽田空港 ~ 米子空港	ANA	776.0		往復						
計	議員旅費			80,510	65,930	0	0	0	2,400	12,180	0
	随行旅費			0							

出席議員 森田議員

議員旅費	80,510 × 1名 =	80,510 円
取扱手数料	275	275 円
自宅から米子空港までの自家用車12km × 25 × 2 =		600 円
		<u>81,385 円</u>

※22日空港～札幌までと 23日北広島～空港までのJR代は領収書がないため含まない

i n 北海道 全国若手議員の会 第1回全国研修会【議員力向上部会】 森田議員